

# 中学校新校舎が完成しました

本年4月から新校舎での授業が始まります

平成21年5月に着工しました御代田中学校建設第1期工事と、昨年の6月に着工しました第2期工事が、3月に終了いたしました。

今回、校舎棟、管理・特別教室棟、屋内運動場、プール、太陽光発電設備、校舎周辺の外構、中間教室、西側職員駐車場が完成しました。

校舎棟は鉄筋コンクリート造4階建てで内装材に木材をふんだんに使用し、温かみのある教育環境づくりに配慮しています。

なお普通教室のある2階から4階には、多目的教室を配置し、将来の多様化を考慮した設計になっています。

管理・特別教室棟は鉄筋コンクリート造2階建てで、校舎棟と同じく内装材には木材を多用しています。昇降口から入ると、吹抜けの多目的スペースがあり、特徴的な「らせん階段」も設置されています。

屋内運動場は、鉄骨鉄筋コンクリート造2階建てで、1階には柔道場、また卓球や剣道に使用できる多目的スペースを確保しています。

2階にはアリーナ、ステージ等を備え、アリーナでは公式バスケットコート2面を確保できるスペースになっています。

新校舎は、外断熱やペアガラス、太陽光発電設備等を採用し環境にも配慮した建物になっています。これによりエコスクールの認定を受け、国庫補助率の加算措置を受けることができました。

今回の中学校建設事業は、「公立学校施設整備費国庫負担金」、「安全・安心な学校づくり交付金」、「まちづくり交付金」等、国からの補助金、また交付税措置のある有利な起債の借入により、町の負担を抑え建設することができました。

なお平成23年度は校舎解体、グラウンド造成工事、外構工事を予定しています。町民の皆さまには、何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。



南側より見た校舎棟

屋内運動場アリーナ



太陽光発電設備



教育委員会学校教育係

(32)9100

# 学校給食共同調理場(親子方式)での給食が4月からはじまります

## ○親子方式とは

調理場を持つ学校(親Ⅱ中学校)が、調理場を持たない学校(子Ⅱ南・北小学校)の給食調理も行い、各小学校に配送する方式のことです。

## ○作業区域の完全分離とドライシステムの導入

衛生管理基準に基づき、汚染作業区域と非汚染作業区域を完全に分離し、ドライシステムを導入します。

これらにより、食中毒防止の3原則「付けない」「増やさない」「殺菌する」を厳守して、衛生管理の徹底を図ります。



太陽熱利用ソーラーシステム

## ○ソーラーシステムの導入

地域新エネルギー等導入促進対策費補助金を受け、「太陽熱利用ソーラーシステム」を設置しました。真空型太陽熱集熱器89台により効率的な給湯利用を行い、自然環境の汚染を最低限に抑え、とともに調理場の全給湯エネルギーの燃料費約75%の節約を目指します。この給湯設備はCO<sub>2</sub>の排出量削減効果が高く、環境にもやさしいことから地球温暖化防止対策にもつながっています。

## ○南・北小学校では

共同調理場から配送される給食を受け入れる場所として、既存の調理室を改築し給食テナナ室とします。この工事期間中は、仮設テナナ室を設けて対応します。

テナナ室に給食を受け取りに行き、教室まで運ぶこととなります。供用開始にあたっては、事故等がないよう学校と連携して対応します。また、先生方も共同調理場方式を経験していただきますので、その経験を活かし児童とともに運搬にあたっていただきます。

きます。

なお、共同調理場からの給食の配送は、保温で摂氏65度以上、保冷で摂氏10度以下を2時間以上保つ二重食缶を使用します。温かい物は温かく、冷たい物は冷たいままの状態で見守ることに届きます。

## ○中学校では

新校舎棟の西側にある共同調理場の配膳室に給食を受け取りに行き、教室まで運ぶこととなりますので、従来の方式と変わりがありません。

未来を担う子どもたちの健やかな心身の成長を願い、従来どおり地産地消、セレクト給食、希望献立などの良い点を継承して、更にバランスのとれたおいしい給食作りを目指します。また、アレルギー対策として除去食、代替食なども工夫していきますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

教育委員会学校給食係

(41)02637

御代田町学校給食共同調理場 厨房システム立体図

